

今治明德短大

# 歩き遍路体験学習レポートから

③

生活科学科

藤本 盟

歩き遍路体験を通して  
たくさんのかき出しを  
感じた。ただの思い出  
として片付けることは  
できません。正直、行く前は  
少し憂鬱でしたが、今では  
「いい体験ができた。もっ  
ともっと歩いて八十八ヶ  
所全部回りたい」と思う  
ようになりました。書き  
たいことがたくさんある  
ので、分けて書くように  
しています。

《歩いたこと》今まで  
あまり歩くことがなかつ  
たので、最初のうちはす  
ごく苦痛で、一人でイラ  
イラすることもありまし  
た。一日目は慣れないし  
前の晩寝てなくてしんど  
かったけど、一応先達の役  
割。どうにか先達らしい  
ことができたと思うので  
すが、それが二日目に影  
響したのかすごくしんど  
かったです。全く調子が  
乗らなくて人より遅れて  
歩いたし、その差がどん  
どん開いていくにつれ五  
日間歩ききるのは無理か  
もしれないと思いました。

二日目の午後から、休  
憩したあと人より先に  
発することにしました。

するとスピードとリズム  
が掴め、歩くのにも慣れ  
てきたのかそれ以降はさ  
ほど苦痛なく歩ききるこ  
とができました。

二日目くらいから足に  
水ぶくれができた。筋  
肉痛に悩まされたり。水  
ぶくれの水を抜いてもす  
ぐ水が溜まりけつこう痛  
かったけど、テーピング  
やガーゼで対応しまし  
た。歩きはじめは痛けれ  
ど、しばらく歩くと痛み  
には慣れました。(中略)

三日目は距離が長く、  
四日目は最御崎寺への登  
り、津照寺の階段、金剛頂

## パワーのもと朝の勤行

寺への坂道がきつかった。  
そして五日目、神峯寺へ  
の登りがあれほどキツイ  
とは思っていませんでした。  
残り三分の一くらい  
は疲れきって、足の痛み  
など忘れていました。

五日間歩いて自分なり  
に見つけた歩きのポイン  
トは ①スピードを一定  
に保つこと ②自分のリ  
ズムを作る ③心と足を  
バラバラに離して機械的  
に足を動かす、時には人  
と話す(はじめは話す余  
裕もなかったが、話して

いる間は疲れを忘れてい  
ることに気がきました)  
④近い将来の楽しみをバ  
ネにして歩くです。

《海・道・環境のこと》  
一日目は山道が多かつた  
けど、二日目は海。高知  
の海は大きくて綺麗。沖  
縄の海にも行ったことが  
あるけど全く違い、高知  
の海は日本的で「和」っ  
て感じがしました。空も大  
きくて、いつも見ている  
空よりずっと高いところ  
にあって…。時々吹いて  
くる風がとても気持ちよ  
く、山道では地面がやた  
ら軟らかく感じました。

宿舎は海岸沿いであり、  
夜屋上に出ると風が強  
く、ふと左の空を見ると  
少し欠けた綺麗な月が出  
ていて感動しました。こ  
れまで見た月の中で一番  
綺麗だと思いました。

《お接待のこと》「お接  
待」は、地域文化論で勉  
強するまで知りません  
でした。今回、たくさん  
人からお接待をいただ  
いて、本当に嬉しかった。  
お遍路さんは亡くなった  
人の供養とか人生に迷  
った人とか、何か重い物



足の手入れに余念のない学生

背負って歩いているとい  
う印象があります。自分  
はそうではなく学校の授  
業だし、歩きたくて歩  
いているのにお接待して  
いただき感謝しています。  
自分がしてもらって、次  
は自分がお接待したい  
と思うようになりました。

《寺のこと》お寺には  
あまり行ったことがな  
かったけど、行って良  
かったと思っています。  
特に朝のお勤めが心に  
残っています。お経など  
分らないことだらけだ  
けけど、座っているだけ  
で落ち着いて、もつと  
座っていたいと思うくら  
いでした。お勤めは泊め  
ていただいたお礼のよう  
なものらしいのですが、  
反対にその日一日のパ  
ワーをもらっているよう  
な気持ちです。

《いろいろな人と関  
わったこと》五日間歩  
くことができたのは、周  
りに皆がいたからだと思  
います。一緒に歩き遍路  
した人たちは、名前も知  
らずほとんど話をしたこと

薬王寺ではお経の最後  
に「明德短期大学の…家  
内安全…」のようなこと  
が聞き取れました。金剛  
頂寺では小角住職(三十  
番奥の院安楽寺)の節談  
内容も理解でき面白そ  
うでいいなあと思いました。

《いろいろな人と関  
わったこと》五日間歩  
くことができたのは、周  
りに皆がいたからだと思  
います。一緒に歩き遍路  
した人たちは、名前も知  
らずほとんど話をしたこと

《いろいろな人と関  
わったこと》五日間歩  
くことができたのは、周  
りに皆がいたからだと思  
います。一緒に歩き遍路  
した人たちは、名前も知  
らずほとんど話をしたこと

がない人ばかりでした。  
いろんな人と話せたり、  
良かったと思います。  
先生方もしんどいはず  
なのにいろいろ考えてく  
ださる、自分は？と考え  
ました。思っても行動し  
ない、人見知りする、と  
きどき陰にこもる、考え  
を表に出せず何も残ら  
ない…。このままで一生  
空振りで終わりそうで、  
帰って三日経ったいま改  
めて反省しています。

《おわりに》五日間、  
いつもとは違う世界にい  
るみたいでした。現実味  
がなく、夢の中にいるよ  
うで。

帰ったらいろいろな事  
をしようと思っていて  
いたのに、いざ帰って  
みるとそんな事はどうも  
よくなって…。これまで  
嫌なことでも度々ありま  
したがみんなちがって  
見え、多少のことは受  
け入れることができるよ  
うな気がします。

何よりも同じ目標のた  
め多くの人が助け合う、  
自分もしんどいのに他人  
の事を気遣うということが  
心を動かされました。  
今回いい体験ができ、  
歩き遍路に興味があ  
りました。これからも今  
の心境を忘れず、今しか  
できないことを努力を惜  
しめずやっていこうと思  
います。